

YKK AP アメリカ社 新「メーコン工場」の操業を開始 住宅用樹脂窓の高効率な一貫生産体制を構築

YKK AP 株式会社の現地法人である YKK AP アメリカ社（本社：米国ジョージア州、社長：Oliver Stepe）は、ジョージア州メーコン・ビブ郡に建設を進めておりました住宅用樹脂窓を製造する新工場「メーコン工場」が 2023 年 12 月に完成し、12 月 28 日に操業を開始したことをお知らせいたします。

メーコン工場は、ジョージア州の中央に位置し、旧メーコン工場から車で約 20 分の場所に新たに用地を取得して建設。これまで 2 カ所に分かれていた旧工場の製造機能をすべて移管し、樹脂窓の一貫生産体制を構築しました。これにより、販売エリアである米国南部 6 州の住宅用樹脂窓増販に向け、製造供給能力強化と市場競争力のある製造供給体制を構築します。



工場外観



工場内観

メーコン工場は「安全と品質にこだわり、顧客のビジネスや地球環境、そして地域社会に貢献する」をポリシーに、すべての業務において安全性と品質にこだわり、お客様のビジネスや地域社会に貢献していくとともに、従業員が誇りを持って働ける工場を目指します。

製造ラインは、既存の樹脂窓商品に加えて改良商品となる「StyleView[®] Classic」の製造に向けた新設ハンダラインなどの設備を擁し、樹脂素材の押出、ガラス・窓の加工、組立、出荷までを建屋の西側から東側に流れるライン設計として、高効率な一貫生産体制を構築しました。日本の樹脂窓製造ラインである「APW ライン」で採用している自動化技術を展開し、生産性を現行から 212%とする計画です。また、遠隔でのサポート体制構築、現地オペレーターが維持管理できる設備仕様にするなどのメンテナンス性の向上や、人に頼らない工程内検査の確立なども行い、安全かつ高品質な工場を目指します。

さらに製造ライン内や倉庫・出荷工程では、重量物の運搬、ピッキング作業など身体的な負荷の大きい作業の自動化・省人化を図るとともに、情報基盤を整備しスマートファクトリー化することで、作業者にとって働きやすい環境を構築します。ロジスティクスでは、GTP（※）や IoT 技術を導入し、作業者の移動やピッキング時間を削減するとともに、出荷工程の効率化・省人化を目指します。

新建屋は、窓からの自然光を取り入れ、屋根・壁の断熱化により省エネ性能を高めることで、CO₂ 排出量削減を目指します。更に、カーボンニュートラル実現に向けて創エネ技術を段階的に導入していきます。通路は将来の自動搬送化を考慮したほか、今後の事業・商品戦略やさらなる成長に合わせてフレキシブルに対応できるよう、拡張性を持った建屋設計になっています。また、アメリカ南部で多発する竜巻などの自然災害発生時用の緊急避難場所を確保、従業員の安全・安心への配慮を行っています。

※GTPとは、Goods To Person の略称で、物流センターなどにおいて商品をピッキングする作業者の場所までロボットが荷物を運んでくる棚搬送型ロボット、または作業者が定位置でピッキングする作業の実施方法のこと。固定棚に保管されている商品が作業者が歩きながらピッキングする方法に対し、作業者の移動を極小化することができるため作業負荷が軽減します。

【メーコン工場概要】

所在地	米国ジョージア州メーコン・ビブ郡 (100 YKK AP Way, Macon, Bibb County, Georgia, U.S.A)
工期	着工 2022 年 10 月 完工 2023 年 12 月
操業開始	2023 年 12 月 28 日
生産品目	住宅用の樹脂窓および引戸
主な設備	樹脂押出機、ラミネート加工、複層ガラス、樹脂窓生産ライン
生産能力	年間約 45 万窓
敷地、延床面積	敷地：202,343 m ² (新規取得) / 延床：約 36,000 m ²
建屋構造	鉄骨造、鉄筋コンクリート造 地上 1 階建
従業員数	250 名 (2023 年 12 月時点)
投資金額	1 億 2500 万 USD (土地・建屋・生産設備含む)

【YKK AP アメリカ社 概要】

所在地	本 社 ジョージア州アトランタ 工 場 ダブリン、メーコン、ダラス、シンシナティ、レイクショア (カナダ) 支 店 アトランタ、オーランド、ボルチモア、グリーンズボロ、シンシナティ、ダラス、ボストン、シカゴ、ヒューストン、ノバイ
設立	1991 年 4 月 24 日
社長	Oliver Stepe (オリバー・ステピ)
従業員数	約 1,200 名 (2023 年 3 月末現在)
販売品目	店舗用・集合住宅用・商業ビル用アルミ建材、カーテンウォール商品、住宅用樹脂窓